

ロビー コンサート

【2月 節分コンサート】

2月14日のバレンタインデーに2月のロビーコンサートを開催しました。患者様のお孫様とご友人の方に演奏していただきました。ヨーロッパで声学を学ばれている方なので、歌唱力は抜群、ピアノの連弾なども披露して頂き会場はすばらしい音色に包まれました。



【3月 菜の花コンサート】

3月15日、札幌医科大学合唱部をお招きして菜の花コンサートを開催しました。合唱部の皆さん20名でいらっしゃって下さり、ジブリ映画の主題歌を歌ったりふるさとを会場の皆さんと斉唱しました。学生さんのさわやかで力強い歌声に皆さん聞き入っていました。また、大学前学長で合唱部の創設者であります秋野理事長が前回コンサートに引き続き参加し、学生さんへ勉強や部活に励みこれからの地域医療を担って行って欲しいとお話させていただきました。

平成19年度第3回ボランティア研修会



2月28日第3回「銀の舟」ボランティア研修会が開催され、23名のボランティアさんが参加されました。今回は当院の歯科診療部長・藤本篤士先生が「高齢者がおいしく食べるためには？」というテーマで、口から食べる事の重要性や、虫歯の予防法について講演しました。藤本先生が出演したテレビ番組を鑑賞することで、とてもわかりやすく学ぶ事ができ、時に会場が笑いに包まれるなど、終始和やかな雰囲気、あっという間に時間が過ぎました。歯磨きをきちんと行えば虫歯予防は万全と思われがちですが、バランスの良い食生活を心がける事が1番大切であると学びました。「食事をおいしく食べる事・楽しくおしゃべりする事・笑顔で笑う事」が口の健康だけでなく、身体との健康とつながっている事を実感する研修会となりました。

講演後の昼食時にもボランティアさんから質問が活発に飛び交い、藤本先生のアドバイスにより、貴重な知識を得ることができました。

認定看護師・ケア専門士をご紹介します。

西円山病院看護部

医療は日々進歩しており、看護の分野も広がっています。

看護師もケアをさせていただく中で、様々な実践能力が必要とされます。

そのような中で、日本看護協会はある特定の分野で専門性の高い知識や優れた看護技術を身につけ、ケアを提供できる、認定看護師の教育をはじめました。

認定看護師の役割は『実践・相談・教育』の三つです。

近年は他の学会や協議会でも認定やケア専門士の育成が活発に行われるようになっていきます。

西円山病院の看護部にも認定看護師やケア専門士が、色々な場で活動していますのでご紹介いたします。

認知症看護認定看護師



秋元看護師長



森林看護師



片野看護師長

北海道では、この資格をもつのは二人だけです。病棟の中での学習会の開催・院外の認知症看護研修会の講師・新人研修の講師、また看護雑誌の執筆など認知症のある患者様のケアの向上を目指して活躍中です。

院内全体の感染対策を現場と一緒に考え、必要な時は院内のラウンドや調査活動を行っています。また、院内外の研修の講師や感染に関する相談を受けたり、執筆活動なども行っています。

認知症ケア専門士



渋谷看護師長

現在、回復期リハビリテーション病棟で、認知症のある患者様のケアの知識を活かして、リハビリが上手くできるように、スタッフと一緒に活動しています。在宅のケアマネジャーからの依頼で、在宅ケアに活かせる研修の講師を務めるなどの活動も行いました。

褥瘡認定師



天野看護師長

院内で褥瘡のある患者様のケアの相談を受けたり、治療に効果的なマットレスの選択をする、褥瘡をテーマにした研究に取り組むなど積極的な活動を行っています。

バイオ燃料の動向

最近よく耳にするのがこの燃料ですが、皆さんはご存知ですか？

バイオ燃料とは、生物体（バイオマス）の持つエネルギーを利用したアルコール燃料、その他合成ガスのことで、二酸化炭素排出量が減ることから主に自動車を動かす石油燃料の代替物として注目されていますが、課題も多く存在しております。バイオ燃料は植物を利用する（有力なのがサトウキビ、小麦、トウモロコシ等である）。大量に増産するには当然ながら作物が大量に必要となりますが、特に政策などで推奨するなどしない限り、作物の耕作面積が急速に増えることはありません。現在の生産量の中から穀物を利用することに当然なり、全体的な生産量が上がっていない状態で需要だけが伸びることにより、穀物の値段が上がる、あるいは不足するのではないかと懸念があります。また、バイオ燃料に使用される作物への転作が行われることで、バイオ燃料としては不向きな作物も高騰、不足に陥る可能性もあります。特に日本の場合、食料自給率は40%程度（カロリーベース）であり、燃料に回す分があるのかという指摘もあり、食用作物以外での生産技術の開発が望まれているところなのです。

にこにこコラム

皆さん、今年の冬は、ウィンタースポーツをされましたか？私は2月の連休にニセコへ行き、スノーボードをしてきました。雲ひとつない晴天だった為、くっきりとした羊蹄山を見ることが出来ました。普段感じることの出来ない自然のすばらしさを体感できました。ニセコのスキー場はオーストラリア人や中国・韓国人だらけ。ペンションや居酒屋も英語だらけ。日本にいながら外国にいる気分を味わえました。今度は夏に行って、ラフティグをしたいです。皆さんも機会があればぜひニセコに行って、自然を満喫してみたいはいかがでしょうか？



編集後記

待ちに待った春が来ましたね。桜の開花も例年より早いそうです。当院のある円山地区の花見場所といえば、北海道神宮、円山公園が挙げられ、エゾヤマザクラやソメイヨシノ、ヤエザクラが有名です。桜の花芽は、前年の夏に形成され、その後「休眠」という状態になり、休眠した花芽は、一定期間低温にさらされ（休眠打破）、春の気温上昇に伴い花芽が成長（生成）し、開花します。日本には四季があり、厳しい冬を越すからこそ常夏の国にはない日本独特の美しい桜が咲くのだそうです（H・K）。

すべての
お問い合わせは

郵便

〒064-8557
札幌市中央区円山西町4丁目7-25
西円山病院 医療福祉課内
広報誌「にしまるやま通信」編集事務局

お気軽にお問い合わせ下さい！

電話 (011) 644-1380
FAX (011) 642-4347

● 無料送迎バスのご案内 ●

(平成20年1月)

	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時
地下鉄駅発	55	35	15	10 50	30	10	30		*00 *40	*45	*15 *45	*15 *45	*30	*35
西円山病院発		15 55	50	30	10 50		10	40	20	30	00 30	00 30	05 45	25 45

※のバスは地下鉄円山公園駅⑤番出口発、その他はすべて①番出口となります。